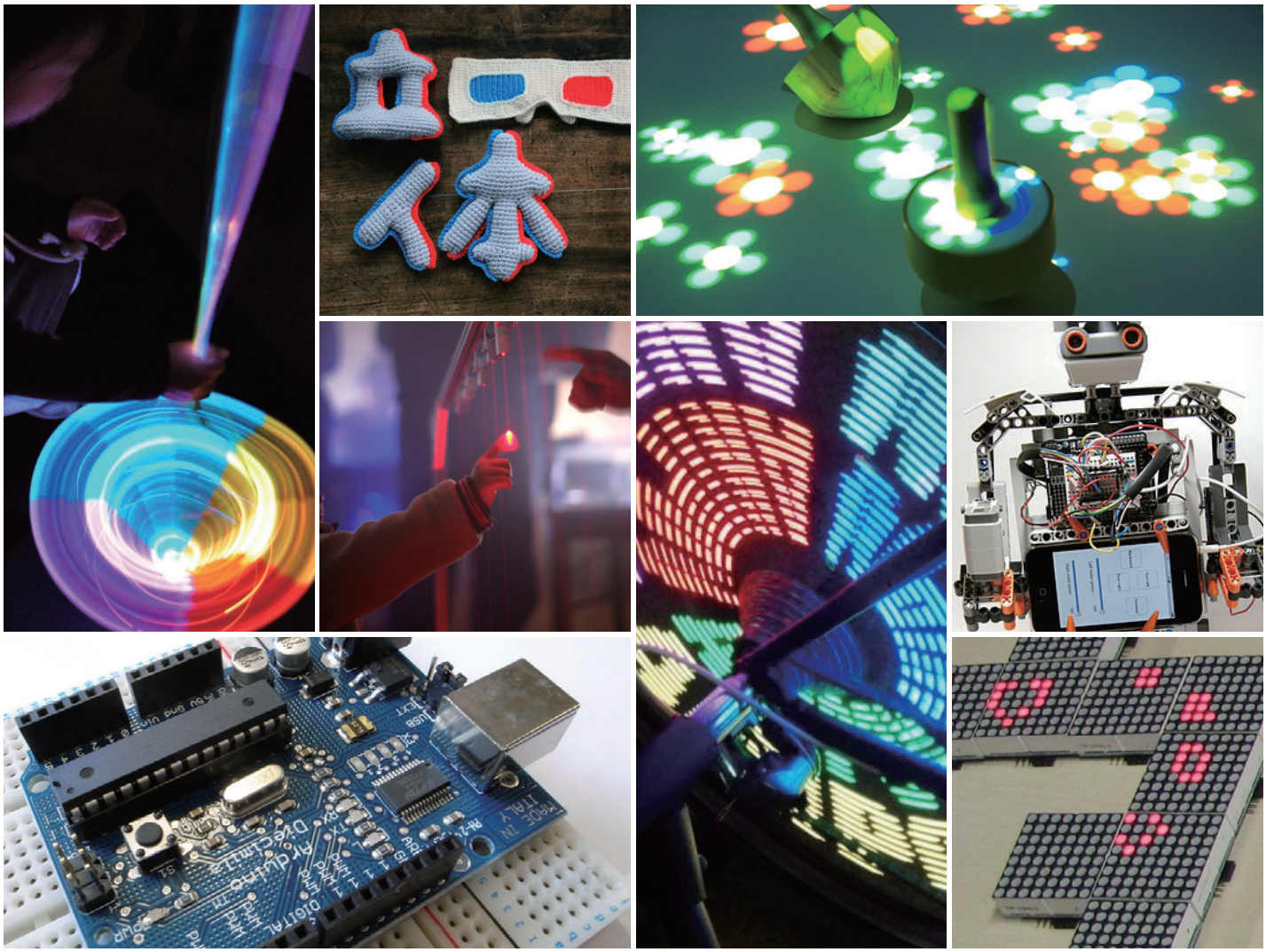
Make: Ogaki Meeting

September 25 & 26, 2010

Softopia Japan
Center Building



Make: Ogaki Meeting　実行委員会

開催報告書

IAMAS　O'REILLY　Make: technology on your time

Make: Ogaki Meeting
September
25 & 26 2010
受付

巻頭言「Make: Ogaki Meeting を開催して」

「Make: Meeting」は、全国のMakerと呼ばれる人たちが、電子工作をはじめとした「ものづくり」の楽しさを分かち合う祭典として、これまで東京を中心に開催（主催：㈱オライリー・ジャパン）され、年々大きな反響を呼ぶイベントになってきています。

この「Make: Tokyo Meeting」には、大垣市に本拠を置く情報科学芸術大学院大学、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（通称：ＩＡＭＡＳ）の教員・学生が、早くから参加し、研究や創作活動の成果を発表してきたところです。

こうした経緯もあって「全国から集まるMakerとの出会いや交流は、新しい地域産業の力を育むきっかけになる」とのＩＡＭＡＳの呼びかけに、大垣市や地元経済団体が呼応して実行委員会を組織し、(株)オライリー・ジャパンの協力も得て、ソフトピアジャパンセンターを会場に「Make: Ogaki Meeting」を開催することとなりました。このイベントが東京以外の地方で開催されるのは、今回の大垣が初めてのことです。

初の地方開催ということで、中部圏はもとより、全国から参加いただけるのだろうかと危惧しておりましたが、関係者のご尽力もあり、当初の予想をはるかに上回る114組の皆さんに出展いただいたほか、会場へは、２日間で４千人を超える方々にもご来場いただきました。

ソフトピアジャパンのソピアホールやふれあい広場にずらりと並ぶ作品には、小型人工衛星や、360度の視野を持つカメラなどの最先端技術の成果と言えるものはもとより、人の脈拍を感知して動く人形といった遊び心に満ちたものがあり、一つ一つの作品に込められた斬新なアイデアや、Makerの皆さんの熱い思いに触れた来場者からは、「楽しい」、「面白い」といった声が多く聞かれました。

また、自作楽器を使ったコンサートのほか、電子玩具づくりやテクノ手芸に参加するワークショップなどは、ものづくりの楽しさを体験していただく絶好の機会となり、参加したご家族連れが満足げにお帰りになる様子が忘れられません。会場となったソフトピアジャパンの信長像も、知的好奇心と想像力に溢れる若者たちに囲まれ目を細めているようでしたが、このイベントを見て、触れて、体験した子どもたちから、次代の日本のものづくりを担う、優れた人材が出てくることを切に願うものです。

折しも新興国の台頭をはじめ国際競争がますます激化する中、日本のものづくりは、既存の常識や概念にとらわれない大胆で自由な発想や技術によって、独自の付加価値をもつ製品を生み出していくことが求められています。今回の「Make: Ogaki Meeting」を通じて、大いにアピールいただいたMakerの皆さまの、新しいこと、面白いことに挑戦していく姿こそが、今後の日本のものづくりを支えていく大きな力たり得るものとの意を強くしたところです。

最後に、このイベントの開催にあたり、たくさんの方々からご支援、ご協力をいただきました。関係各位のお力添えに改めて御礼申し上げますとともに、Make: Ogaki Meetingの次回開催に向けて、皆さまの一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

Make: Ogaki Meeting　実行委員会

会長　小川　信也

Make:
STICKER

Make:
MIT
REAL PERFOR

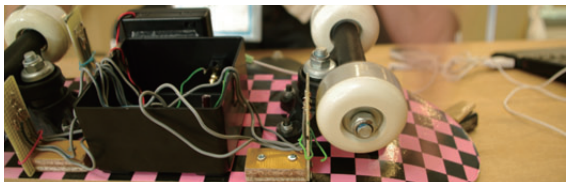
Make: Ogaki Meeting

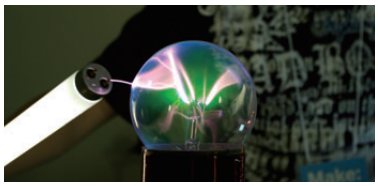
1. 運営組織

主催 : Make:Ogaki Meeting 実行委員会

岐阜県、大垣市、大垣商工会議所、ぎふ IT・ものづくり協議会、(社) 岐阜県情報産業協会、(社) 岐阜県工業会、(財) 岐阜県産業経済振興センター、SJ 情場クラブ、岐阜大学、岐阜工業高等専門学校、(財) ソフトピアジャパン、情報科学芸術大学院大学、(株) オライリー・ジャパン

後援 : 経済産業省、岐阜県教育委員会、大垣市教育委員会、大垣市観光協会、(株) 日刊工業新聞社





2 . 開催データ

入場者数	4,000 人
25 日 [土]	1,500 人
26 日 [日]	2,500 人

3. イベント概要

日時 : 2010 年 9 月 25 日 [土]12:00~18:00
2010 年 9 月 26 日 [日]10:00~18:00
場所 : ソフトピアジャパンセンタービル 1F・3F
大垣市加賀野 4-1-7

< 開催内容 >

(1) 展示 (詳細別頁)

出展者 :114 組
【地域 : 中部圏 57(岐阜 29)、関西圏 15、関東圏等 42】
【区分 : 個人 86、企業 15、学校 13】

(2) ワークショップ

25 日 (土)

・gangu archive ／アイディアスケッチ ワークショップ
・秋田純一・迎山和司 ／ LED Tile ワークショップ
・テクノ手芸部 ／テクノ手芸部ワークショップ
・菅野創・山本雄平／テクノフォン・シリーズ
・とらんじ☆すた振興会 ／「トランジスタで遊ぼう」
・東海職業能力開発大学校 ／「学習型ライントレースロボットの製作」

26 日 (日)

・秋田純一・迎山和司 ／ LED Tile ワークショップ
・とらんじ☆すた振興会 ／「トランジスタで遊ぼう」
・ 菅野創・山本雄平／テクノフォン・シリーズ
・ gangu archive ／アイディアスケッチ ワークショップ

(3) トークイベント

25 日 (土)

1F セミナーホール 14:00 ~ 15:30
『「Make」をつくる』

出演
田村英男 (オライリー・ジャパン「Make 日本語版」編集)
高橋隆雄 (「Make 日本語版」編集協力スタッフ)
船田巧 (「Make 日本語版」編集協力スタッフ)

本家のアメリカから世界に広がりつつある「Make:」の目的やポリシー、Maker Faire の様子や日本の Make: Meeting の違いについて、「Make 日本語版」を創刊時から編集してきたオライリー・ジャパンの田村英男氏の語り。
また、「Make」誌上にてさまざまなモノづくりにチャレンジ、紹介してきた高橋隆雄氏が、初回から関わってきた Make: Tokyo Meeting の制作裏側の紹介、「Make:blog」の執筆にも関わる船田巧氏は「Make」をとりまく新しい動き、これからの展開や可能性についての語り。

会場風景

トークイベント
田村英男・高橋隆雄・船田巧／「Makeをつくる」

(4) プレゼンテーション

25 日 (土)

・山名のぞみ ／ 電磁加速の技術について
・(株) ビート・クラフト ／ Open Source Gadget bc10
・音点字プロジェクト ／ 音点字プロジェクト
・日本電話施設 (株) ／『360 度カメラ』『オムニ・ビート』
・SUAC ／ SUAC の学生インスタレーション作品の変遷
・WARABICH ／ WaraBrix
・まんだら舎 ／まんだら舎 PR
・とらんじ☆すた振興会 ／トランジスタで遊ぼう
・OTL(有) ／ロボ喫茶

26 日 (日)

・morecat_lab ／ MIDI ベース
・フィジカルコンピューティングプラットフォーム「もなか」
・武蔵野美術大学ヨコヤマゼミ ／コミュニ毛糸 de 糸電話
・(株) インフロー ／「 P 板 .com オリジナルプリント基板カレンダー ver.3」「ハーブのきもち」
・藤本啓太 FET_EL ／―半導体テスラコイルと音―
・DrillBros ／ 映像パフォーマンスユニット「DrillBros」
・ユカイ工学 ／ ソーシャルなコミュニケーションのためのロボット「ココナッチ」
・DHGS ／ 電子工作部 Singleton
・超小型衛星センター ・ 中須賀研究室 ／ 超小型人工衛星を用いた新しい宇宙産業の創出
・FPGA-CA ／ FEFPGA-CAFE
・鉄板 TV ／ Singing Report Show! 鉄板 TV.works

(5) ライブパフォーマンス

26 日 (日)

・Craftwife + Kaseo + ／ Craftwife + Kaseo +
・米本電音研究所 ／ 楽しい電子楽器 自作のススメ
・1980 円 ／ いらっしゃいませ 1980 円
・デザイン寮 ／ デザイン寮
・長嶋洋一 (SUAC) ／ controllable untouchableness
・Soundamentalism ／ Soundamental Device
・jai ／ フィジカルコンピューティングによる演奏

(6) レセプション

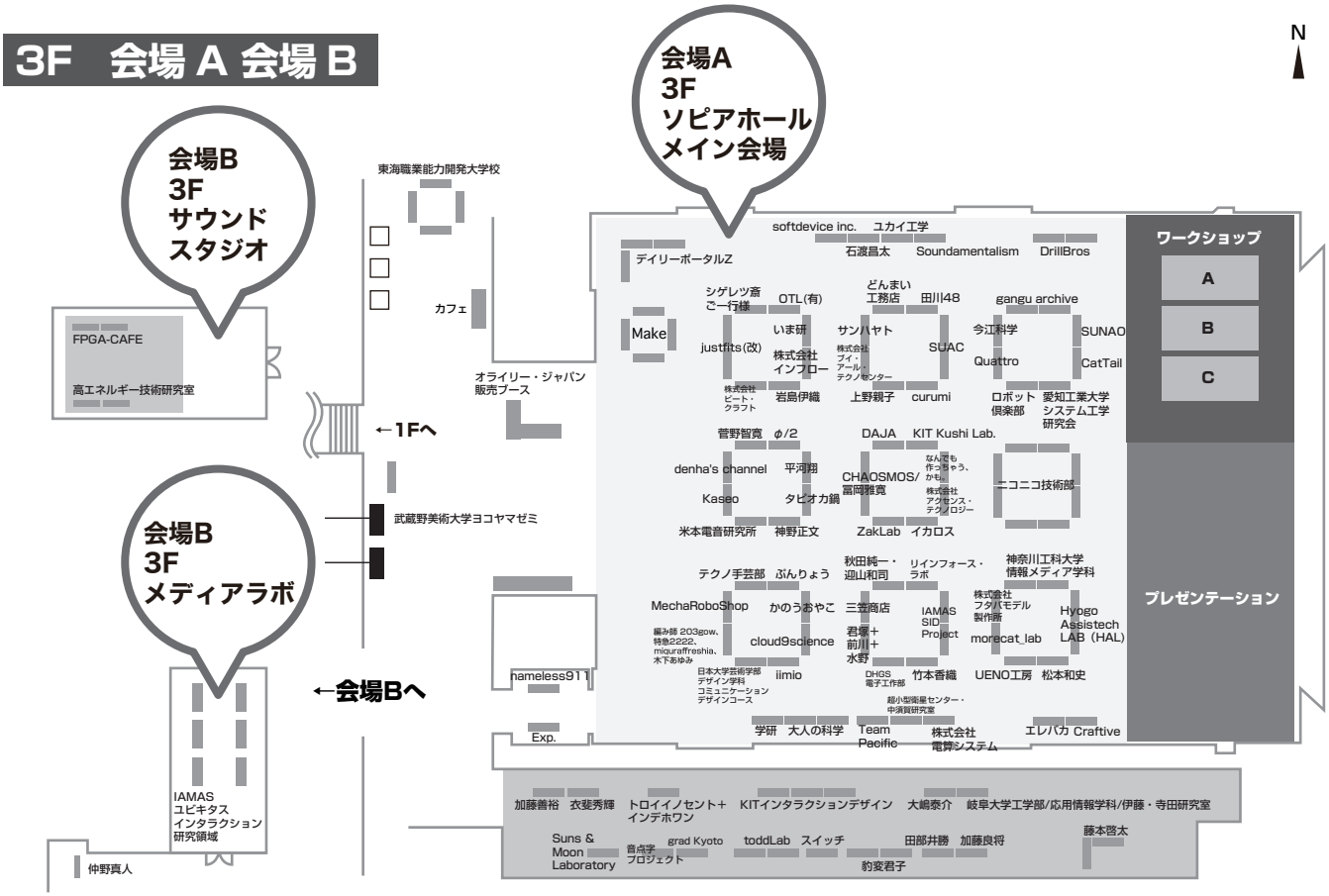
25 日 (土)

1F レストラン 18:30 ~ 20:00
参加者約190名

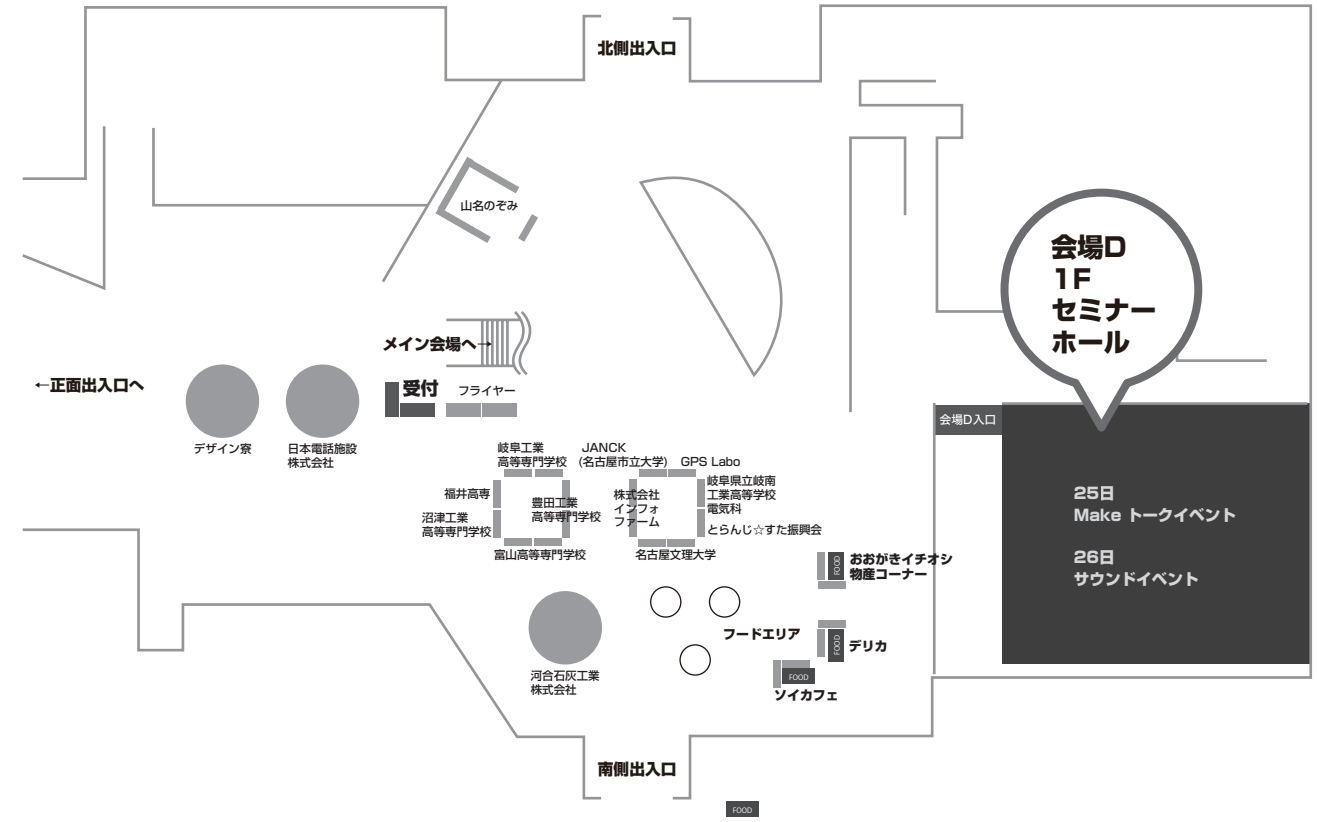
レセプション

< 会場図 >

3F　会場 A 会場 B



1F　会場 C



会場風景

会場風景

いま研／LEGO+ Plays Othello

スイッチ／まわる・うつる・ひろがる

IAMASユビキタスインタラクション研究領域プロジェクト

IAMASユビキタスインタラクション研究領域プロジェクト

岐阜工業高等専門学校／地雷探査ロボット

Craftive／とんとんすもった～

ワークショップ
菅野創・山本雄平/テクノフォン・シリーズ

ワークショップ
テクノ手芸部／テクノ手芸部ワークショップ

ストリーミング中継

ライブパフォーマンス
Craftwife+Kaseo+／Craftwife+Kaseo+

< 出展者 >

参加者名 (グループ名も可)	出展物名、プロジェクト名、またはプレゼンテーションタイトル	地域
Kaseo	サーキットベンディング	岐阜
denha's channel	denha's channel	愛知
Suns & Moon Laboratory	ANIPOV	長野
君塚 + 前川 + 水野	タイトル未定	千葉
鉄板 TV	鉄板 TV - 世界の塔の下から in 大垣 -	愛知
nameless911	LaSER HaRP	岐阜
φ/2	工作とか , オーディオとか	大阪
UENO 工房	「FPGA を勉強目的にプロッタ装置作りました」	岐阜
なんでも作っちゃう、かも。	なんでも作っちゃう、かも。	大阪
山名のぞみ	多段式電磁投射砲 (多段式 コイルガン)	京都
ニコニコ技術部	ニコニコ技術部	愛知
リインフォース・ラボ	お手軽 iPhone アクセサリいろいろ	愛知
仲野真人	mute	千葉
jai	フィジカルコンピューティングによる演奏	宮城
音点字プロジェクト	音点字プロジェクト	岐阜
豹変君子	LAN・マイコン・赤外線	宮城
ZakLab	みんなのホビーロボット展示	兵庫
cloud9science	cloud9science@MOM	岐阜
Hyogo Assistech LAB(HAL)	Assistech2010	奈良
加藤良将	Rokuro シリーズ展示	愛知
GPS Labo	mbed ベースボード /GPS Clock	神奈川
SUAC	SUAC 学生作品集など	静岡
とらんじ☆すた振 興 会	トランジスタで遊ぼう	京都
米本電音研究所	楽しい電子楽器 自作のススメ	東京
OTL(有)	ロボ喫茶	愛知
Craftwife	Craftwife + Kaseo +	岐阜
田部井勝	ちずあかり	岐阜
DAJA	モザイコ	岐阜
秋田純一・迎山和司	秋山純司研究室	北海道
morecat_lab	MIDI ベース フィジカルコンピューティングプラットフォーム「もなか」	東京
Quattro	Sampler	神奈川
菅野智寛	全自動アナログフォトフレームマシン、他	群馬
かのうおやこ	未定	岐阜
上野親子	とにかく上野家手作り品	愛知
WARABICH	WaraBrix	愛知
JANCK(名古屋市立大学)	JANCK	愛知
Exp.	エクストリームクラブイベント「Exp.」	滋賀
平河 翔	写真の立体化	京都
日本大学芸術学部デザイン学科コミュニケーションデザインコース	手作り電子小物	東京
神野 正文	携帯プレーヤアンプ	茨城
Soundamentalism	Soundamental Device	愛知
エレバカ	おうどうギター Lite	埼玉
ぷんりょう	かなちゃん (奏でるちゃんちゃんこ)	愛知
IAMAS ユビキタスインタラクション研究領域	ユビキタスインタラクション研究領域プロジェクト	岐阜
武蔵野美術大学ヨコヤマゼミ	コミュニ毛糸 de 糸電話	東京
grad Kyoto	Small Handy Gadget : ひかりもの、インタフェース提案	京都
justfits(改)	just fits(改)	京都
toddLab	スイッチ / Switch	神奈川
藤本啓太	FET_EL ー 半導体テスラコイルと音 ー	三重
スイッチ	まわる、うつる、ひろがる	愛知
DrillBros	映像パフォーマンスユニット「DrillBros」	三重
IAMAS SID Project	サーフェイス・インターフェイス・デザイン	岐阜
菅野 創・山本 雄平	テクノフォンシリーズ	東京
シゲレツ斎ご一行様	テレビと Arduino の融合 ?	愛知
東海職業能力開発大学校	腫瘍の動きを模擬する胸部動体ファントムの試作、ほか	岐阜
ロボットクラブ	リアルテトリスとペンギンロボット	愛知
デイリーポータル Z	デイリーポータル Z 工作チーム	東京

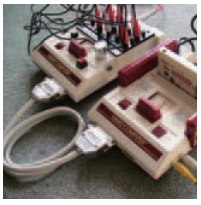
今江科学	ジャイロカー、立体スキャナ Tri-Coder	神奈川
1980 円	いらっしゃいませ 1980 円	愛知
岩島伊織	ハナヒラク	岐阜
高エネルギー技術研究室	テスラコイル・レーザープロジェクター	茨城
CHAOSMOS/ 冨岡雅寛	CHAOSMOS	神奈川
愛知工業大学 システム工学研究会	タッチセンサを使った電子楽器	愛知
DHGS 電子工作部	Singleton	東京
タピオカ鍋	PSoCALOID 試作 1 号、もしくは 2 号の展示	京都
curumi	curumi - experiment	岐阜
石渡 昌太	キャラロボ	東京
編み師 203gow、特急 2222、miquraffreshia、木下あゆみ	あなたの知らない編みの世界展	岐阜
松本和史	analicear	岐阜
竹本香織	Ogaki Pneumatic	岐阜
超小型衛星センター・中須賀研究室	超小型人工衛星を用いた新しい宇宙産業の創出	東京
gangu archive	アイディアスケッチ ワークショップ	長野
SUNAO	電子玩具	長野
CatTail	Android 携帯でネギ振りを作ってみた	愛知
KIT インタラクションデザイン	KIT インタラクションデザイン授業作品	京都
デザイン寮	デザイン寮	静岡
イカロス	かわいい人工物の研究	静岡
大嶋泰介	paper circuit(紙回路) と programmable paper light(プログラミング可能な紙の照明)	神奈川
FPGA-CAFE	FPGA-CAFE	茨城
三笠商店	デバイス作品	岐阜
iimio	機械じかけの生もの	東京
神奈川工科大学 情報メディア学科	神奈川工科大学 情報メディア学科の展示を行ないます。	神奈川
加藤善裕	WYSIWYS	東京
衣斐秀輝	言葉の雨	東京
テクノ手芸部	テクノ手芸部	東京
岐阜大学工学部 / 応用情報学科 / 伊藤・寺田研究室	色彩感情球	岐阜
岐阜県立岐南工業高等学校 電気科	岐阜市京町山車 清影車 からくりロボット「豊玉姫」	岐阜
どんまい工務店	わかさぎ電動リール釣竿	岐阜
名古屋文理大学	Make:NBU	愛知
いま研	LEGO+ Plays Othello	東京
岐阜工業高等専門学校 (東海北陸高専連携ブース)	(1) 地雷探査ロボット／(2) 電子機能ブロック	岐阜
福井高専 (東海北陸高専連携ブース)	コンテストによる地域ブランド活性化と創造教育	福井
豊田工業高等専門学校 (東海北陸高専連携ブース)	豊田高専ロボトピア (NHK ロボコン出場マシーンとその他ロボット)	愛知
沼津工業高等専門学校 (東海北陸高専連携ブース)	TEE ―手袋型生活自立支援インタフェース―	静岡
富山高等専門学校 (東海北陸高専連専連携ブース)	大学等産学官連携自立化促進プログラム～東海北陸地区高専の知的ゲートウェイ構想	富山
Team Pacific	Wonder Card	岐阜
株式会社VRテクノセンター	@c@ スティッカー (ステレオカメラデバイス)	岐阜
株式会社ビート・クラフト	Open Source Gadget bc10	東京
softdevice inc.	Softdevice のやわらかな装置	京都
株式会社アクセンス・テクノロジー	自作ドラム型 LED ディスプレイと、ALIX を使用したネットワーク関連機器	大阪
株式会社フタバモデル製作所	カーボンギター	岐阜
Craftive	新プロダクト、Crashtive(仮称)、LOGER、Photolock など	東京
MechaRoboShop	MechaRoboShop	東京
株式会社インフォファーム	セキュリティソリューション	岐阜
ユカイ工学	ソーシャルなコミュニケーションのためのロボット「ココナッチ」	東京
日本電話施設株式会社	OmniBeat(オムニ・ビート)	愛知
学研 大人の科学	大人の科学	東京
河合石灰工業株式会社	フラット パネル スピーカー	岐阜
株式会社インフロー	プ リント 基 板 カ レン ダ ー 、 P板.com事業紹介	東京

出店参加数：１１４組

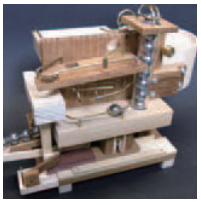
【地域地域：中部圏５７(岐阜２９)、関西圏１５、関東圏等４２】

【区分：個人８６、企業１５、学校１３】

< 出展参考 >

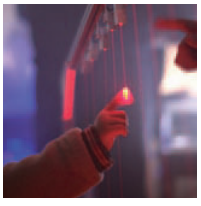
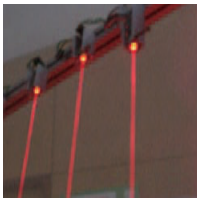


KASEO「サーキットベンディング」
大垣在住のサーキットベンダー。
サーキットベンドとは既存の楽器や電子玩具の回路をハッキングして
改造する手法で、出てくる音や映像をまったく別のものに変えます。



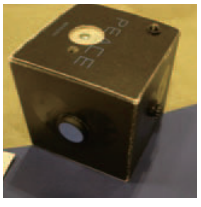
denha's channel「玉転がしマシンほか」
小牧在住。
カプセルサイズの小型ロボットや楽器、自動玉転がしマシンなど
手のひらサイズの遊び心のあるガジェットを多数制作。

Suns & Moon Laboratory 「ANIPOV」
自転車の車輪の回転を使った残像表示ディスプレイ。
カラーでアニメーション出来る自転車 POVが欲しい!という訳で作ってみた。
3色LED 8色x24ピクセルx1周256ラ インで、最大56フレーム表示可能。

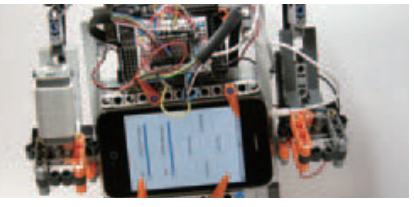



nameless911 「Laser Harp」
照射されるレーザーを遮ることで演奏できる新世代のハープ楽器。

いま研 「LEGO+ Plays Othello」
Arduino制御のオセロをするレゴロボットの展示。



なんでも作っちゃう、かも。 「なんでも作っちゃう、かも。」
スターバックスの空きカップで作ったスピーカーアンプの展示とキット販売
GPS つき Arduino カメラの展示。



リインフォースラボ「お手軽 iPhone アクセサリいろいろ」
誰でも簡単にiPhoneからロボットを動かしたい 、それを叶えるために、
音声端子でデジタル信号をやりとりするソフトウェア・モデムを開発しています。

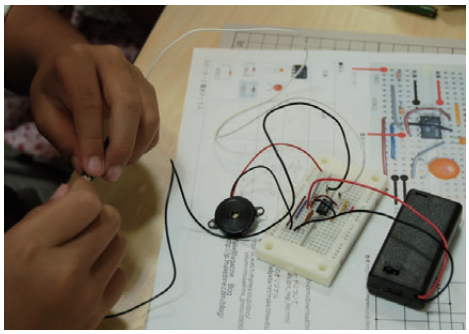
< 参加者の声 >

○MOMのバナーと信長像、印象的でしたね
○筋電で操作する電動車いす、一人目のお客さんはSF作家の野尻さんでした。ヘッドセンサー装着調整、難なくOK。手放し操作をアピール、参考になりました。
○MOM01、長男（5歳）の印象に残ったものは、居合い、ぱぱごと、人工衛星の写真、denhaさんのビー玉装置、などなどだったそうです。次回、もし開催できるなら何か一緒に作ってだせるといいなあ。
○初回としては大成功でしょうね。地元への告知がうまかったのかな?スタッフ、出展者、来場者皆さんお疲れ様でした。
○Make: Ogaki Meeting で激しく物欲にかられたもの多数。ミニサイズのROKURO、ニキシー管の時計、手のひらサイズのマーブルマシン。その他。どれも凄かった。
○Make Meetingに限らないけど、外部の人に作品を見てもらえる機会があるときは名刺を用意した方がいいと思うんだよなー。特に学生さん。なにがどうつながるかわからないもんですよ。
○衛星を展示してた人その2です。初参加でとても刺激を受けたので、次はもっと面白い物を作って参加させて頂きたいと思います!おつかれさまでした。
○MTMでは見られない方々の展示が沢山あって新鮮です。といいつつ、今日は自分たちの展示でゆっくり見れなかったところがほとんどなので、明日はしっかり見て回らなければ!
○MOM、あっという間に終わってしまいました。出展者をのぞいて3300人ってすごいですね。活気があってとても印象的でした。今日ばかりは、ソフトピアのセンタービルもちょっと誇らしそうです。
○おもしろい。みんなの創作意欲に脱帽す。
○衛星を展示してた人その2です。初参加でとても刺激を受けたので、次はもっと面白い物を作って参加させて頂きたいと思います!おつかれさまでした〜。
○大盛況すぎ。
○皆様お疲れ様でした。初の出展側参加でしたが、思った通りのエネルギッシュなイベントでした。また機会があったら参加したいです。そのためにもアイデア練らなきゃ。
○信長公とMake: って凄い絵やなw
○終わっちゃいましたね。いかだ（一夜城?）にのぼって見た会場の風景がとても楽しかった。あとライブもよかった。次はMTM06ですな。今回使った装備を整頓しておかないと。
○お疲れさまでした!!なんというか東京と違って?お子さんの大爆笑を何回も見られたのでとても満足です。
○帰りは岐阜羽島から新幹線。明日から仕事と思うと若干うんざりだけど、MOM01 の疲労はほとんどなし。今回もいろいろな方とお会いできて良かったです!
○Make:OgakiMeeting出展者の皆さんお疲れ様でした。二日目午後のみですがおなかいっぱい楽しませて頂きました。ありがとう!写真撮らせてくれた皆さんもありがとう!出来上がったらお知らせしますね。
○Make: Ogaki、えらい好評やないか。
○何かを作りたい気持ちにさせてくれる良いイベントですね。
○お弁当食べて一息中。以外と子供連れの人が多い感じ。触って遊べる、音や光で見ただけで何かわかる展示の大事さが良くわかった。
○MOM、どうせIAMASだろ、と思っている方も、ぜひ遊びに来てください。多分、想像を大きく裏切られると思います。もちろんIAMASからの出展もありますが、全国各地からのさまざまな出展があり、とても面白いですよ。
○MOM位の規模の方がノンビリな感じでイイと思う。MTM規模になってしまうと、見るのに追われている感が否めない。
○東京よりも出展者と話しやすく、子供、老人が多いのもよくて、MAKEは地方でやるとなかなかいいかもしれないと思いました。またスタッフも親切で助かりました。客としても楽しませて頂きありがとうございました。
○展示会場も、コンサート会場も、宿泊施設も快適で、またスタッフの対応も素晴らしく、とても楽しいイベントでした。

※アンケート・Twitterより抜粋

＜関連イベント＞

Make: Ogaki Meeting プレイベント



Make: Ogaki Meetingのプレイベントとして親子を対象に夏休み・親子でものづくり講座を開催。

第一弾「羽ばたき飛行機を作ってみよう」
日時：2010年 8月9日(月) 13:30 ~ 16:00
場所：IAMAS 新校舎 1F ギャラリー
対象：小学 3~6 年生・親子
参加者：35人

第二弾「ブレッドボードを使って電子楽器を作ろう」
日時：2010年 8月17日(火) 13:30 ~ 16:00
場所：大垣市情報工房 1F 交流ギャラリー
対象：小学 3~6 年生・親子
参加者：30人

After Make: Ogaki Meeting

Make: Ogaki Meeting のアフターイベントとして大垣市のイルミネーションの特設ビニルハウス、「おおがきライトハウス（12/4～25）」の初日に開催。MOMの参加者から中部圏の、特に光系の制作を行っている方々に出展していただいた。

日時：2010 年 12 月 4 日（土）17:30-21:30
会場：大垣公園特設 OGAKI LIGHT HOUSE

出展：
CraftWife+Kaseo「CraftWife+Kaseo」
1980 円「いらっしゃいませ 1980 円」
Suns & Moon Laboratory「ANIPOV」
denha's channel「玉転がしマシンほか」
加藤良将「Rokuro」
田部井勝「ちずあかり」
藤本啓太「FET_EL 半導体テスラコイルと音」
nameless911「Laser Harp」
音点字プロジェクト「音点字プロジェクト」
トリガーデバイス「こまどりアニメーション」

来場者数：600 人

4. スポンサー

< 協賛企業・団体・補助金 >

このイベントは企業協賛のほかに、財団法人岐阜県産業振興センター「岐阜県ひだ・みのじまん振興基金」および大垣市の助成をうけて運営しました。
多くの企業・団体の皆様にご協賛をいただき、本当にありがとうございました。

伊藤忠アーバンコミュニティ・グループ
イビデン株式会社
株式会社インフロー
NTTコミュニケーションズ株式会社
大垣ガス株式会社
株式会社大垣共立銀行
カイインダストリーズ
川崎重工業株式会社航空宇宙カンパニー
ぎふ IT・ものづくり協議会
岐阜県金属工業団地協同組合
社団法人 岐阜県情報産業協会
岐阜車体工業株式会社
グレート インフォーメーション ネットワーク株式会社
株式会社佐合木材
サンメッセ株式会社
株式会社スイッチサイエンス
十六地域振興財団
西濃運輸株式会社
太平洋工業株式会社
中部産業株式会社
中部電力株式会社岐阜支店
(株)TYK
株式会社デリカスイト
株式会社電算システム
特定非営利活動法人 ドット NET 分散開発ソフトピア・センター
日本耐酸壜工業株式会社
日本電気株式会社
日本電話施設株式会社
ピーアイシステム株式会社
株式会社ビート・クラフト
株式会社ボンフォーム
株式会社丸順
株式会社まんだら舎

上記のうちWEB等へ協賛名を掲示した企業・団体

(社) 岐阜県情報産業協会　（株）佐合木材

5. 実行委員会 / 運営スタッフ

＜役職一覧＞

［実行委員会］

会 長

小川　信也　　大垣商工会議所会頭

副会長

辻　正　　ぎふ IT・ものづくり協議会会長
宮地　正直　　(社) 岐阜県情報産業協会会長
江崎　禎英　　岐阜県商工労働部長
熊坂　賢次　　(財) ソフトピアジャパン理事長
関口　敦仁　　情報科学芸術大学院大学学長

委 員

臼井　敏男　　岐阜工業高等専門学校研究主事 (副校長)
大江　英　　大垣市企画部長
佐竹　一良　　(社) 岐阜県工業会専務理事
豊田　良則　　(財) 岐阜県産業経済振興センター理事長
成瀬　重雄　　大垣商工会議所専務理事
丹羽　義典　　岐阜県総合企画部研究開発総括監
三輪　高史　　SJ 情場クラブ会長
森本　博昭　　岐阜大学産官学融合本部長
John　Moore　(株) オライリー・ジャパン代表取締役

監 査

伊藤　誠紀　　(財) ソフトピアジャパン事務局長
川元　信之　　大垣市会計管理者兼会計課長
細江　俊男　　岐阜県西濃振興局出納課長

［幹事会］

岩崎　正人　　情報科学芸術大学院大学 事務局長
菱田　耕吉　　大垣商工会議所事務局長
上野　嘉久　　大垣市情報企画課長
伊藤　政治　　大垣市産業振興室長
太田　秀昭　　(財) ソフトピアジャパン事業連携推進課長
川瀬　尚志　　SJ 情場クラブ理事
小林　昌廣　　情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター長
高井　和貴　　(社) 岐阜県情報産業協会事務局
田村　英男　　(株) オライリー・ジャパン
服部　清　　(財) 岐阜県産業経済振興センター
モノづくりセンター事業推進部長
広瀬　昌樹　　岐阜県 APEC 推進室長
洞田　浩　　岐阜県商工労働部情報産業課長
堀部　哲　　岐阜県研究開発課長
山田　睦彦　　ぎふ IT・ものづくり協議会事務局
伊藤忠アーバンコミュニティー・グループ
統括責任者

事務局（運営スタッフ）

伊藤　博文　　情報科学芸術大学院大学事務局
福田　幹　　株式会社ゴーライトリー
小林　茂　　国際情報科学芸術アカデミー准教授
河村　陽介　　情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター
難波田　隆雄　情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター
柴田　良一　　岐阜工業高等専門学校
新森　信市　　大垣市情報企画課
松尾　晃　　岐阜県商工労働部情報産業課IT拠点担当主査
平塚　竜彦　　(財) ソフトピアジャパン事業連携担当チーフ
種田　智哲　　(財) ソフトピアジャパン

< Make: Ogaki Meeting経過報告 >

4月	28日	Make: Ogaki Meeting 実行委員会第1回幹事会
5月	13日	Make: Ogaki Meeting 第１回実行委員会
	22,23日	Make: Tokyo Meeting 05 視察
6月	１日	WEBにて出展者、協賛金の募集アップ
	22日	担当者定例会議 第１回
	28日	プレス向けプレゼンテーション
7月	７日	担当者定例会議 第２回
	14日	Make: Ogaki Meeting 実行委員会第2回幹事会
	16日	出展締切
	20日	担当者定例会議 第３回
8月	３日	担当者定例会議 第４回
	９日	Makeプレイベント
	17日	Makeプレイベント
	17日	担当者定例会議 第5回
	19日	Make: Ogaki Meeting 実行委員会第3回幹事会
	27日	Make: Ogaki Meeting 第２回実行委員会
9月	16日	Make: Ogaki Meeting 実行委員会第4回幹事会
	25日	Make: Ogaki Meeting 1日目
	26日	Make: Ogaki Meeting 2日目（おおがきビエンナーレ閉会）
12月	４日	Make: Ogaki Meeting アフターイベント
2月	18日	Make: Ogaki Meeting 第３回実行委員会

< 広報活動 >

■ WEB への記載

・専用 WEB にて出展者、協賛金の募集アップ　6/1
・専用 WEB サイトリニューアル　7/16
・ソフトピアジャパン、オライリージャパン、アスキーからの専用 WEB サイトへのリンク

■新聞記事への記載等

・日刊工業新聞（出展募集）　6/25
・県政記者クラブでイベントのプレゼン　6/28
・日本経済新聞　6/29
・岐阜新聞　7/6
・ 中日新聞・読売新聞（Makeプレイベント）　8/10
・ 中日新聞（Makeプレイベント）　8/18
・知事記者会見　9/14
・中日スポーツ　9/15
・読売新聞　9/15
・中部経済新聞　9/15
・ 中日新聞　9/28

■関連イベント

・Makeプレイベント（羽ばたき飛行機を作ろう）　8/9
・Makeプレイベント（電子楽器を作ろう）　8/17
・アフターイベント　12/4

■イベントでの広報

・岐阜高専 オープンキャンパス　9/4-5
・元気ハツラツ市　9/5

■チラシの設置・配布

・セブンイレブン (2600 部)　9/1
・全国書店・・・・オライリージャパン

■地方誌への記載

・オレイユ
・Wao
・咲楽

■テレビ番組

・岐阜放送　岐阜県政フラッシュ　9/21
・NHK 岐阜　みのひだ伝言板　9/21
・大垣ケーブルテレビ　ニュースのひろば　9/14-19
・岐阜放送　岐阜県政フラッシュ　9/21
・メーテレ　夕方のニュース　9/25
・NHK 名古屋放送局　夕方のニュース　9/26

■ラジオ番組

・Radio80　モーニングバード　9/22
・Radio80　岐阜POWER COUNTDOWN　9/14
・Radio80　ほっとぬくもりぎふ　9/25

■キャラバン隊による広報

・中日新聞、日本経済新聞名古屋支社、中部経済新聞社、読売新聞中部支社、岐阜新聞・岐阜放送名古屋支社、日刊工業新聞名古屋支社、テレビ愛知 (株)、中部日本放送 (株)、名古屋テレビ放送 (株)、東海テレビ放送 (株)

チラシ・ポスター

2010年9月15日中部経済新聞

情報科学芸術大学院大学・岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）の職員らが14日、大垣市で開催するアーティストイベント「岐阜おおがきビエンナーレ2010」（22～26日）PRのため中部経済新聞社を訪れた。写真。

大垣市内が美術館に

ビエンナーレ　アピール　キャラバン隊来訪

市内各所で芸術作品の展示やワークショップ、コンサートなどを実施。個人や企業など116団体が電子工作や自作楽器などを展示する「Make: Ogaki Meeting」（25～26日）を同時開催する。

一行は「大垣市内全域が美術館のようになります」とアピールした。問い合わせはIAMAS（電話0584・75・6606）まで。

沼越地新

＜新聞記事等＞

27 ◆ 地域 岐阜 12版　2010年(平成22年)8月10日(火曜日)　讀賣新聞

岐阜

情報をお寄せ下さい

岐阜支局
〒500-8463 岐阜市加納新本町3-1
058-275-4166
FAX 058-276-9969
Eメール gifu@yomiuri.com
通信部
大垣 0584-74-6161
多治見 0572-24-0091
中津川 0573-66-1180
下呂 0576-24-1084
高山 0577-33-1040

羽ばたき飛行機 仕組み考え製作

大垣で児童ら

大垣市領家町の情報科学芸術大学院大学・県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）で9日、「夏休み親子でものづくり体験講座」が開かれ、参加者らがゴム動力で飛ぶ羽ばたき飛行機の製作に挑戦した＝写真＝。

羽ばたき飛行機は全長約30㌢。翼をチョウや鳥のように羽ばたかせて飛行する。同市内の小学3～6年生16組35人が参加し、超小型飛行体研究所（川崎市）を主宰する宗像俊龍さん（47）が指導した。

宗像さんが「どのように翼が付いているか、理解して」などと声をかけ、子供たちは飛行の原理などを考えながら羽ばたき飛行機を組み立てていった。

市立西小学校4年の藤井勝路君（9）は「羽ばたき飛行機を作ったのは初めてだけど、うまく飛ばせた。楽しい」と笑顔で話していた。

親子で飛行機作り 完成品に児童歓喜

大垣・IAMAS

親子で飛行機キットを作る会が九日、大垣市の情報科学芸術大学院大学・県国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）であった。

小学三～六年生と保護者ら約三十五人が参加。全国で教室を開いている「超小型飛行体研究所」（神奈川県）の宗像俊龍所長(47)の指導で、糸ゴムを動力にポリエステルフィルム製の翼を動かして飛ぶ飛行機キットを作った。参加者は、カッターで発泡スチロール板を切り、尾翼を胴体に取り付けるなどして、全長約三十㌢の飛行機を仕上げた。出来上がった飛行機が、パタパタと翼をはためかせて飛ぶと、子どもたちは大喜びしていた。

ワークショップは、九月に大垣市で開かれるものづくりの展示発表会「Make:Ogaki Meeting」のプレイベントとして、同実行委と市情報工房・こども未来塾が企画した。（川田篤志）

飛行機作りに励む参加者。手前は飛行機の完成品＝大垣市のIAMASで

2010. 8. 10　中日新聞　西濃版

Make: Ogaki Meetingプレイベント
羽ばたき飛行機を作ってみよう
8月9日開催

2010. 8. 19岐阜新聞西濃版

筆に電極を取り付け、鳴る音を楽しむ子どもら＝大垣市小野、市情報工房

絵筆に電極、描けば響く音色

電子楽器 できた

親子が「ものづくり体験」 大垣

工作を楽しんでもらおうという「親子ものづくり体験講座」が17日、大垣市小野の市情報工房であり、参加者は簡単な回路を組んだ電子楽器作りに挑戦した。

この講座は同市の情報科学芸術大学院大学などが主催。来月25、26の両日にフットピアジャパン（同市加賀野）で開催される全国規模のものづくりイベント「メイク」のプレ行事として催された。

養老町大野、トリガーデバイス社員の佐藤忠彦さんを講師に、小学3～6年生と保護者の10組27人が参加。子どもたちは組んだ付けが不要な基板「ブレッドボード」に音が出る部品やIC、コンデンサーなどを取り付け、二つの電極の間で通電すると音が鳴る楽器を製作した。

電子ピアノなどの抵抗によって音の高低が変化する仕組みを使ったり付け、文字や絵を描きながら鳴る音を楽しんでいた。

2010年8月18日　中日新聞　西濃版

「ちゃんと音出た！」

親子らで電子楽器を作る工作教室が十七日、大垣市小野の市情報工房であり、同市内の小学生と保護者約三十人が集まった。

コンピューター関連のワークショップを全国で開く「トリガーデバイス」の佐藤忠彦さん(三七)が、講師を担当。一㌢ほどの穴に部品を差し込むだけで電子回路を簡単に組むことができるブレッドボードと呼ばれる小型基盤を使い、電子楽器を製作した。

佐藤さんの指導で、参加者は超小型のスピーカーやコンデンサー、抵抗をブレッドボードに器用に配線して仕上げた。子どもたちは、電気抵抗を利用し、ピーピーと鳴る電子音の音の高さやリズムにアレンジを加え、自分なりの音を奏でた。

母と参加した大垣東小六年杉山舞君(二)は「配線を正しくつなぐのが難しかったけど、ちゃんと音が出た時はうれしかった」と話した。

教室は、九月に大垣市で開かれるものづくりの展示発表会「Make:Ogaki Meeting」のプレイベント。同実行委と市情報工房・こども未来塾が企画した。（川田篤志）

自作の電子楽器の演奏を楽しむ親子＝大垣市小野の市情報工房で

大垣で電子楽器工作教室

Make: Ogaki Meetingプレイベント
ブレッドボードで電子楽器を作ろう
8月17日開催

おおがきビエンナーレ

最先端の情報技術 独創的なアイデア

大垣市の中心市街地で、二十二日から二十六日まで五日間にわたって開かれたメディアアートの祭典「岐阜おおがきビエンナーレ」。同市のIAMAS（県情報科学芸術大学院大学・県国際情報科学芸術アカデミー）が中心となり、最先端の情報技術と独創的なアイデアでさまざまなイベントを企画し、来場者を楽しませた。

大垣ゆかりの植物学者、飯沼慾斎の功績を紹介する「慾斎資料館」や、商店街の空き店舗で大垣をテーマにした映像作品を流すなど地元に焦点をあてた作品を多数展示。体験型ワークショップもあり、お年寄りから家族連れまで多くの人でにぎわった。

関連イベントでは、電子工作の展示会「Make:Ogaki Meeting」（二十五・二十六日、同実行委主催）を同市のソフトピアジャパンで開催。全国から集まった百十四の個人や団体が電子玩具や楽器を披露し、会場は熱気に包まれた。（川田篤志）

回転数や動きに合わせ、LEDのイルミネーションを見せる「ジェル」で遊ぶ子どもたち＝大垣市のソフトピアジャパンで

慾斎の植物画の原本を拡大し「再現」した作品が並ぶ会場＝大垣市多目的交流イベントハウスで

大垣の街並みをとらえた映像作品を鑑賞する来場者＝大垣市郭町で

電子工作を体感しようと、多くの来場者が訪れた会場＝大垣市のソフトピアジャパンで

電子工作が集結 地雷探査ロボも

大垣でイベント

全国の電子工作を集めた「Make: Ogaki Meeting」が二十五日、大垣市のソフトピアジャパンで始まった。二十六日まで。入場無料。

二〇〇八年から続くイベントで、東海地方では初開催。全国の企業や学校、個人など計百十四組が、多機能携帯端末「iPhone（アイフォーン）」や発光ダイオード（LED）を活用した工作やロボットなどを出品した。

岐阜高専（本巣市）は、電子制御工学科三年の有志が、地雷探査機械をモデルにしたロボットを展示。生徒たちは、ロボットが地雷に見立てた磁石に近づくと、音と光で警告して自動で回収する機能を、実演を交えて紹介した。

二十六日は午後二時から、「iPhone」の音楽アプリケーションや、自作の電子楽器を使った演奏会がある。（志村拓）

2010年9月26日中日新聞岐阜県版

機械の説明をしながらロボットを操作する子どもたち＝大垣市のソフトピアジャパンで

2010年9月26日　岐阜新聞　県内版（22）

ものづくりを体感

大垣市で触れて楽しむイベント

小型人工衛星や玩具展示

ものづくりの楽しさを、実際に作品に触れて知ってもらうイベント「Make: Ogaki Meeting」が26日、大垣市加賀野のソフトピアジャパンで始まった。26日まで。

情報科学芸術大学院大学・県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）などでつくる実行委員会の主催。来場者に楽しんでもらうとともに、出展者同士の交流も図ろうと、今回初めて中部圏で開かれた。

全国から114の個人や学校、企業が出展。展示では小型人工衛星や360度の視野を持つカメラといった最先端技術だけでなく、自転車の車輪に取り付けられた発光ダイオード（LED）が回転に合わせて文字やイラストを描いたり、人の脈拍を感知して動く人形といった、遊び心を持ち合わせたアナログ的な作品もある。

IAMASも企業との共同研究から生まれた玩具などを紹介。電子工作などのワークショップも開かれている。26日は午前10時～午後6時まで。入場無料。（中村芳紀）

ものづくりの楽しさを伝えようと、展示されている作品に見入る来場者＝大垣市加賀野、ソフトピアジャパン

Make: Ogaki Meeting
報道記事
9月25日、26日開催

Make: Ogaki Meeting 開催報告書

編　集

情報科学芸術大学院大学事務局
情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター

発　行

Make: Ogaki Meeting 実行委員会

印　刷

株式会社まんだら舎

2011年1月発行

ものづくりのイベントMake: Ogaki Meetingの記録誌です。
開催時の会場の雰囲気を伝えるために多くの写真を掲載している冊子となっています。

形　態	無線綴じ製本
サイズ	210mm×297mm
コンテンツ	運営組織、開催データ、イベント概要、スポンサー、実行委員会／運営スタッフ

This is a commemorative magazine of the manufacturing event Make: Ogaki Meeting. It is a (reporting) booklet with many photos that convey the atmosphere of the venue at the time of its holding.

Form	Perfect Binding
Size	210mm×297mm
Contents	Organization, Data, Event, Sponsor, Executive Committee / Staff

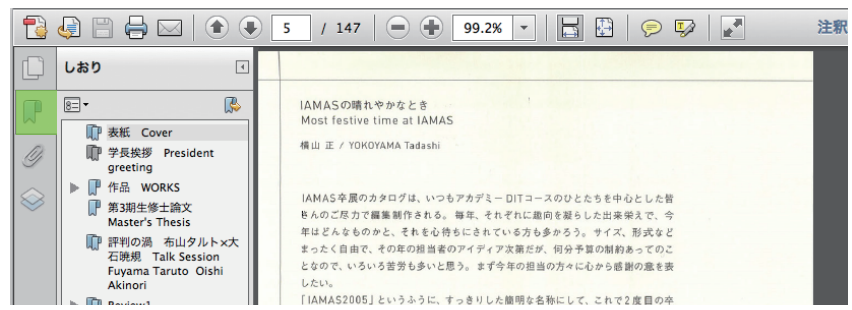
これまでIAMASで発行されたカタログ類をIAMAS BOOKSとして再編成し、電子書籍化しました。
Catalogues previously published at IAMAS have been reorganized into IAMAS BOOKS and turned into digital books.

使用方法｜How to use

PCで閲覧｜Via PC

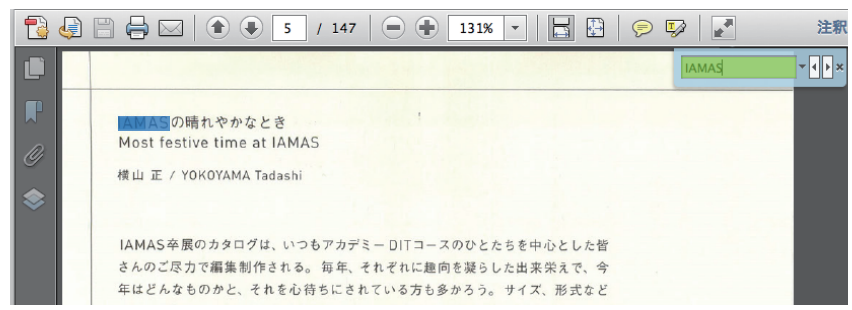
①目次の使い方
・Adobe Readerの場合
「しおり」機能を使って目次としてご利用いただけます。
・Apple プレビューの場合
「サイドバー」を目次としてご利用いただけます。

How to use table of contents
- For Adobe Reader
Access as table of contents using the “guidebook” function.
- For Apple Preview
Access the “sidebar” as the table of contents.



②検索機能で該当するキーワードや名前などを
見つけることができます。
・Adobe Readerの場合
「編集＞簡易検索」もしくはコマンド＋F
・Apple プレビューの場合
検索窓に入力してください。

Keywords or names can be found using the search function.
- For Adobe Reader
Edit → Simple Search OR Command + F
- For Apple Preview
Type into the search window.



iPadで閲覧｜Via iPad

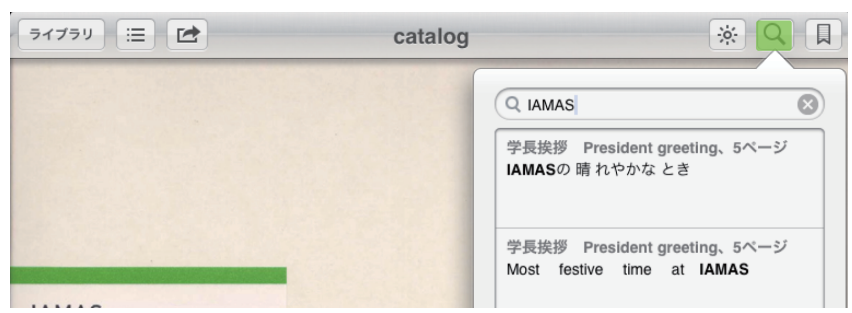
※iBooksでのご利用を推奨しています。
※Use via iBooks is recommended.

①目次の使い方
・メニューのリスト表示から目次をご利用いただけます。

How to use table of contents
- Access from the list display in the menu.

②検索機能で該当するキーワードや名前などを
見つけることができます。
・メニューの検索アイコンから検索いただけます。

Keywords or names can be found using the search function.
- Search from the search icon in the menu.



Android端末で閲覧｜ For Android

※閲覧する端末、アプリケーションによっては目次機能が正しく動作しない場合がありますのでご了承ください。
※Please be aware that depending upon the terminal/application used, there are times when the table of contents function will not work correctly.

IAMAS BOOKS

Make: Ogaki Meeting

発行日 Issue	2012年1月再編 January.2012
編集 Editor	鈴木光 SUZUKI Hikaru
撮影 Photography	萩原健一 HAGIHARA Kenichi
制作協力 Special Thanks	河村陽介 KAWAMURA Yosuke
監修 Supervisor	前田真二郎　瀬川晃 MAEDA Shinjiro　SEGAWA Akira
発行 Publisher	IAMAS 情報科学芸術大学院大学 IAMAS Institute of Advanced Media Arts and Sciences

IAMAS
503-0014
岐阜県大垣市領家町3-95

3-95 Ryoke-cho, Ogaki
Gifu 503-0014, Japan

www.iamas.ac.jp

Copyright IAMAS 2012